

# ミニギャラリー

(敬称略)



熊野第三小学校

6年 重松 大夢

「百羽のつる」  
【評】雪の降る月夜の晩に、子どもものつるをかばいながら飛ぶつるたちを、一羽一羽丁寧に描きました。

熊野第三小学校 5年 中重 圭祐

【評】「しんにょう」の三画目の傾きや折れの方角、三画目の運筆がとても丁寧で、全体のバランスもよくとれています。



## 熊野の自然 (185) アベマキ (ブナ科)



ゆるぎ観音から赤穂峠への道は、よく整備されていて植物を観察するのに向いています。アベマキの大きな木を見ることが出来ます。

写真はアベマキの樹皮です。アベは岡山県の方言でアバタの意味。灰褐色で、縦に幾つもの深い溝があり凸凹しています。コルク層が発達したもので、押すと弾力があります。かつては、コルク製品に利用され植林もされました。今は地中海地方のコルクガシが使われています。アベマキよりずっと良質だからです。アベマキは、シイタケのほだ木などに使われています。  
花は4〜5月。葉が開くと同時に咲きます。雄花は黄褐色で、多数集まってひも状に垂れ下がります。雌花は、葉

のつけ根に1個ずつ付きますが小さくて目立ちません。

ドングリは、翌年の秋に熟します。大きくずんぐりしていて、こまにするとよく回ります。アラカシなどのドングリは薄いお椀状の殻斗かくとに入っていますが、アベマキは、ぶ厚い防寒帽のような殻斗です。落葉高木で、山形県以南に分布。広島県にも広く生育し熊野の山でも多く見られます。長楕円形の葉が互生します。クヌギとは、ごく近い仲間です。全体によく似ています。一番の違いは葉の裏で、アベマキは灰白色の小さな毛がびっしりと密生しています。クヌギは、ほぼ無毛で淡緑色。熊野ではほとんど見られません。

【写真・文】

緑花文化士 富沢由美子

## 今月の題字



熊野高校1年生  
中嶋 将義さん

### 熊野町の火災と救急 平成16年12月中

火災	3件
死傷	0人
救急	69件
搬送	61人

火災と救急の通報は119番  
その他、消防の問合せ・相談はこちら  
海田地区消防署熊野出張所  
TEL 854 - 1103

### 町の人口と世帯数 (前年同月比較)

平成16年12月31日	平成15年12月31日
26,114人	26,293人
12,716人	12,825人
13,398人	13,468人
9,966	9,919



「広報くまの」は再生紙に「アルマーク」と「ソイシール」の認定を受けた環境にやさしい環境対応型インキを使用して印刷されています。